

実施日：4月～3月（通年）	
領 域：特別活動	
取組名：情報モラルの向上 ～明石ネット三カ条をパワーアップして広めよう！～	
対 象：全学年	実施場所：教室ほか
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 明石市の児童生徒のネットモラルやルールの実態を把握した上で改善するために、児童会を中心に主体的に課題解決しようとする態度を育てる。 ・ インターネットの利活用に伴うスマートフォンなどの使用実態に関する明石市内の実態を正しく理解し、相手の気持ちを考えた言動をする態度を育てる。 	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の実践内容の反省や明石市こどもサミットでの情報交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の反省から浮かび上がった課題点（他者尊重）を共通理解し、改善に向けて何が必要かを議論する。 ・ 本校以外の考えも聞くために、明石市教育委員会が主催する「明石こどもサミット」に参加し、各学校の児童会や生徒会からネットトラブルの課題解決につながる情報を集める。 ・ 明石こどもサミット内にて、ネットモラル向上のための標語を策定する。 ○ 明石こどもサミットでの成果を基に、学校の実態に則した取組を実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ サミットで策定した標語（3つの重点項目）を基に、本校の実態に則した「大観こあじ宣言」を改善する。 ・ 全校児童に対して「改 大観こあじ宣言」を発表する。ただ伝えるだけでなく、実際のトラブルの様子などを劇（動画）やテキスト（タブレット端末のアプリにて作成）に表すことで、全校児童に視覚的に訴えトラブルの未然防止につなげる。 	
ウ 連携先：児童（全校生）、家庭、地域、明石市教育委員会	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット利活用に関するトラブルや正しい使用方法について、N I T 情報技術推進ネットワーク（株）による出前授業を実施し、現状と被害状況について理解を促した上で、自分と他者を守るための適切な行動について啓発した。 ・ 明石市の児童・生徒のインターネット利活用に伴うスマートフォン等の使用実態についてのデータを公表し、正しい利活用に向けた生活習慣について家庭内で意見交流し、自律した情報活用能力を身に付けた人づくりを共に育てていくことを児童向けのプリントや学校だよりで児童や保護者に呼びかけた。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 <p>校内の取組として Q U テスト（学校生活や自尊心、ネットトラブルに関する心理テスト）を実施し、児童本人の精神状態やネットトラブルの現状把握を行っている。この取組は、生徒指導と連携することで効果的な改善策をもつことにつながってきている。</p>	
カ 評価の方法 <p>Q U テスト（1・2学期の個人内比較、該当児童へのヒアリング）、担任による見取り、ふり返り</p>	
キ 成果 <p>外部機関との連携により、インターネットに関わる児童同士のトラブルを予防する手立てとなる講義を受けることができたことで、夏季休業中でのインターネットトラブルがほとんど発生しなかった。インターネット上で文章を載せる際に、人を傷つける内容になっていないかどうかを考える「使用時のマナー」を、児童会が作成した情報誌で発信することで、より一層トラブルに巻き込まれないための取組ができた。また、児童の心理テストである Q U テストの結果を比較しながら活用することで、児童の精神的な落ち込みを担任以外も把握し対処する組織ができた。</p>	
ク 課題 <p>スマートフォンのゲームアプリによる対人トラブル（仲間外れ、友人への中傷など）が発生するなど、普段の生活の中でも発生している生徒指導上の問題行為の延長であることが分かった。平素の学校教育活動での生徒指導を細やかに行うことが未然防止につながるため、小さな問題でも児童への対応は丁寧に解決する必要がある。</p>	